

H-II A ロケット 47 号機による

「X線分光撮像衛星(XRISM)」及び「小型月着陸実証機(SLIM)」の打上げについて

[内閣府特命担当大臣(宇宙政策)談話]

本日、H-II A ロケット 47 号機の打上げが成功し、「X線分光撮像衛星(XRISM)」及び「小型月着陸実証機(SLIM)」が所定の軌道に投入されました。

H-II A ロケットは、我が国が技術を蓄積してきた、我が国の宇宙活動の自立性確保と国際競争力強化のために極めて重要な基幹ロケットです。今回、打上げ成功の実績を重ねることができたことを誇らしく思います。

我が国は、衛星によるX線観測の分野に実績を有しており、XRISMは、日本が中心となって米欧と協力し、X線による銀河団の観測を通じて、宇宙の構造や進化の解明を目指すミッションです。また、SLIMは、我が国として初めての月面着陸を目指すものであり、SLIMにより得られる技術やデータを活用し、我が国としてアルテミス計画を始めとする今後の宇宙探査に貢献してまいります。これら2つの探査機のミッションが成功し、我が国の宇宙科学・探査の発展と国際協力に寄与することを期待します。

内閣府特命担当大臣(宇宙政策)として、今後も我が国の宇宙開発利用を精力的に進めてまいります。

令和 5 年 9 月 7 日
内閣府特命担当大臣(宇宙政策)
高 市 早 苗